第37回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日時	平成25年9月9日(月) 午後3時00分～午後5時00分
開催場所	滝川市役所8階 大会議室
出席状況	<p>【委員】 出席：石川委員長、伊藤副委員長、樫原委員、中村委員、春田委員、藤本委員、水戸委員、山田委員、横島委員 欠席：岩本委員</p> <p>【経済部】 居林次長 諏佐副主幹 三戸部主事 (株)コーンズ・エージー 帯広畜産大学 辻村 氏</p> <p>【事務局】 市民生活部 樋郡部長、石川参事 〃 暮らし支援課 配野課長、原田副主幹、大橋主査、畠山主事</p>
議事内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議 (1) 年次報告書の作成及び公表について 市から前年度の環境に関する取組や計画の進捗状況等について周知するための年次報告書案について説明を行った。(→資料3) これに対する各委員からの意見等は次のとおり</p> <p>委員) 質問なんです、数字的に具体的にわからないものがあるんですけど、省エネモニターのCO2削減量についてということなんです、これは、目標値として%で表していますが、具体的な数字についてはなにかあるんですか？どういった目標に対して、どれだけの数字になったのかというものがあれば出していただきたいと考えております。</p> <p>事務局) こちらは、北電からいただく料金表について今年の電力量と去年の電力量が記載されているので、それが、昨年と今年の電力使用量を比較するものとしては一番いいものだと考えている。モニターは45世帯あったんですがこちらの方に8月から2月までの電力使用量を記載してもらっております。平成23年度につきましては、45世帯の合計ですけれども14万514kWhで、平成24年度に関しましては、13万7854kWhで、こちらのほうでご報告いただいております。平成23年度そのままの電気量を使うということではなくて、24年度にその分削減していただいたということであれば、2,660kWhあったということでCO2の排出係数をかけて1.8t削減していただいたということになっております。</p> <p>委員) 具体的な数値としては、何kWhの削減になるのか？</p> <p>事務局) モニターの方が毎年変動してしまう部分があるので、</p> <p>委員) 目標値に対して、何%削減という形が正しいのではないのでしょうか？変動するから目標も常に変動するというのは目標のとらえ方として甘いのではないかと思います。</p> <p>委員長) 目標は決まっているんですよね？</p> <p>事務局) 前年比較で1%という目標にはなっているんですけども</p> <p>委員) 具体的な数値を見える形にした方が良くと思います。</p>

副委員長) 多分、モニターの方に配られている項目の中にも電気とかガスとか様々なものがあると思うんですが、それをトータルとしても削減のパーセンテージということになるんですよね。それから、モニターさんはその項目に対して記載してもらっているのかですとか、一世帯の平均あたりその項目の中のどれがどれくらいになるっていうのがあったらいいのかもしれないと思うんですけども、特に新しい委員さんについては、きっとわかりやすいのかと思います。私たちは、長年やっておりますのでわかってるんですが、新しい委員さんはモニターさんのどこの項目がどの程度減っているということでそういうのがきっとあったらいいのかもしれないですけどね。新しい委員さんについてはきっとわかりやすいのかもしれないですけども。

委員) ちなみに省エネモニターの目標のとらえ方というのはどういったとらえかたなんでしょうか？

事務局) もともと、環境基本計画を平成18年度に策定したんですが、その時に計画したときに国の方でチームー6%というような形で目標をスタートしたんですけども、継続的にそれを取り組んでいくと、年数がたつにつれてその目標が困難になってきたということで、省エネ法で年1%削減するということとなっていたので計画を立てたときには数値的な電力量とかの目標とかではなく前年度と比較した目標値を削減するというので、計画を立てたとう経緯があります。

委員) 送られてきた年次報告書の案ですが、5pに折れ線グラフがあるんですが、こちらを見ていただくと毎年毎年の動きがこうですよ、ということがわかるのかなとおもいますけれども、

委員) パーセンテージで目標を作った場合は目標がぼやけてしまうので、数値を目標にした方が良くと思う。

委員) モニターさんを対象としていて、何年かに一回変わってしまうので、非常に難しいという現実があるのではないかと思います。通常では何年度、何%減というものが本来の目標の立て方であるが、実際に比較した場合に同じ人ではないので、そういった目標は立てにくいのではないかと思います。

委員) 数字がある程度はつきりすると、モニターをやると節電になるんだとか、自分の家のエネルギー消費が減るんだとか、参加する人がもしかしたら増加するのではないかと考えております。今は45名ということなんですけれども、それが100名とかになると、事務局側は大変なのかもしれないですけども、モニターが増えると、滝川市の全体の二酸化炭素排出量が減るとか、そういった効果ももしかしたら期待できるのではないかと考えております。なにか、わかりやすくすると、モニターもやってみようかな、と、そしたら、家計も助かるかな、とそんな安易にやってみようかなという気持ちにもなるんじゃないか。

委員) 私は、実際に何年もやっておりますが、先ほどおっしゃったように例えばガソリン、一か月何ぼ使った、で、何リッターでどのくらい二酸化炭素がでるのか、それもかけていくということで、ガソリン、灯油、電気、ガス、あなたは去年こうでした、今年はどうでした、それに対して何%減りましたよということでもらってはいるんです。それに対して私たちは去年は何があったかなあ、なんで増えたのかなあって、色々とその時の状況で判断するんです。だから、一概に平成24年度はこの数字！ということではだせるのかな？という気がするんです。何年かに対して何%減ったとかそういったわけではなく、家庭ごとにわかるんですよね。

- 委員) このモニターを行うそもそもの目標というのは各家庭の二酸化炭素を削減するというのではなく、意識づけですよね?それで、結果的に二酸化炭素が削減されるということになると思うんですが、目標がどこであるかを明確にしてどういった数字を出すということを考えるべきで、そういったものに変えていくのであればいいと思うが、これだけで、電気量はものすごい減ったんだ、すごいだろ、っていうことをやるとかなりつつかれるのではないかと思います。
- 委員) 年次報告書を作成する際に、省エネモニターの欄の目的を書くといいのかなと思っております。
- 事務局) 年当初にこれだけ減らすんだよという目標を個人が立てるということですかね。その目標に対して110だったらもちろん増えたということになるし99だった場合は減ったということ、それについて達成できたかできていないというやり方をした方がいいというようなことですかね?
- 委員) ちょっとちがう。
- 委員) 一言文言を書き添えるだけで違うのではないか?省エネモニターは、市民の省エネへの意識を向上させるためのものであります。みたいな感じの分を一言添えたらいいのでは。目的や課題等を記載したらいいのでは。
- 委員) この二つの文言は、二つとも意味が違う。下の公共施設においては数値としてきちんとでているので課題は課題として、上の省エネモニターの課題については別に記載しないと、もしかしたらいけないのかもしれない、ここで誤解してしまう可能性もあります。心配しているんですよ、ここつつかれたらどうするんですかと、下は、わかりますが、ここの省エネモニターは減ることが目標というよりも意識づけでやっているんですよということで、二つとも今後の課題を記載した方が誤解を生まないのではないかと考えています。
- 委員) ただ、単純な疑問は目標値があやふやなので、そんな目標を掲げていいのかということですか。
- 事務局) 意見、色々いただきましたので、いったん戻って、再度内部検討いたしまして次回やります。
- 委員) 環境リーダー学習養成講座についてなんですが、わたしは実は1回しかやったことがなくて、すごい農繁期ということと職業的に無理なんですね、これは、年に1回であると、出られる方が非常に狭められるということと、できたら、時間のある若い方、中学生や高校生に勉強の一環ということで「参加しやすい日程ですとか、回数に致しますと参加者が増えたり、頭の固い大人よりも、スポンジのように柔らかい子どもにそういった、施設を見学できるという子たちも参加できたり、後、そういう学校に賞状だとかももらえますよね?そういうのももらえますから、学生たちに小中高生に受けやすい、学校側にもこういうことありますよだとかを企画すると、環境学習リーダーが増えるのではないかと、ということになりますので、是非余力がありましたらよろしくをお願いします。
- 事務局) 今年は、滝川わくわく食育エネルギー育教室ということで、学校向けにもそうした企画を行っておりますので、徐々に来年度以降もそういった企画を増やしていければと考えております。
- 委員) 普段市民にやっているような施設見学をもっと授業的な、周りにあはすごくお楽しみ要素的なものがあると思うんですけども、普段やっているような環境リーダーの講座みたいなのもいいかなと、学校側が食いつきやすいのはそっちなかなと思っていました。

委員) 出前授業の方も、江陵中学校の方ではずっとくらし支援課の方でやっているようで、そこから学校数が増えているようですが、内部でどういった周知をしているのかが行っているのか。

事務局) 内部で全校に対して、校長会や教頭会に対していかがですかということは示しております。で、あとは向こうでやりたいという形になりますので、こちらから押しつけてやるというのはなかなかできないので、学校の方が協力して頂ければできるのではないかとということでは考えております。

委員) 質問なんですけど9 pで農業体験事業実施校数ということになっておりますが、これは、農家の方は直接来ていただいて指導を受けることを農業体験というのか、あるいは、小学校ですと、朝顔を育てたり二年生はトマトだとか、そういったことはどこの学校もやっているんですよね、学校ではそういったことを農業体験とは言わないで、栽培学習とか理科だとか言っているんですけども、

事務局) この集計数については、農家の方と直接やり取りを行っている学校を集計している。

委員) 農家の方が指導に加わるということになります。

委員) 廃油の使用量や回収量がものすごく増えているなど、だんだん前進しているんだなと思っていて、すごくうれしいんですけども、今年もやってよかったなという感じなんですけど、江部乙は農村地帯が多いんですが、例えば廃油ですとか、小型家電ですとか、お年寄りの世帯が増えてくるとだんだんもってくるのがおっくうになるんです、なので、将来的には各町内会ありますよね？町内会でもっている会館を利用して一旦預かって、町内会の会館ごとに回収するといったことや、これからの高齢化に向けて、各回収場所を増やすという、回収しやすいような場所を年に二階回収に育等の方法を検討してほしいです。うちの周りでも結構忘れる人もいるので、車に乗れない世帯も増えてきますので、是非よろしくお願い致します。

(2) 平成25年度環境市民委員会のスケジュール及び協議事項の追加について

平成25年度環境市民委員会のスケジュール及び協議事項の追加について経済部諏佐副主幹より説明を行った。

(3) 特定地域再生計画について

産業振興課より「(2) 協議事項の追加及びスケジュールの変更について」と「協議(3) 特定地域再生計画について」の説明があった。また、資料の5、6については事業全体の質問があったため、時間切れとなり説明は行わなかった。

◇質問事項

Q. 太陽光、風力、藻類バイオと3つ説明をいただいたが、本委員会では3つとも議論することになるのか。

A. 違います。本委員会で議論いただきたいのは藻類バイオについてのみです。

Q. 藻類バイオに関して事業化提案を行うとスケジュールにあるが、専門知識の無い市民のレベルで事業化提案を行うことは不可能と考えるのがいかがか。

A. 資料3のスケジュールの中に、事業化提案との記載がありますが、これは委員の皆様が事業化提案をしていただくことではなく、民間事業者が事業化提案していただき、それを評価いただくという意味で記載したものです。

また、評価いただく内容に関しても、専門的な事業の内容というわけではなくあ

くまでも市民目線での取り組みに対する評価をいただくこうと考えています。

Q. いくら市民目線と言えども、専門的な内容なので本委員会において議論し、市長への提言をするのに相応しい内容かどうか疑問であるがいかがか。

A. 産業振興課としてはあくまで、何か決定していただく場というより、市民の中でも環境分野にご関心の高い委員の皆様に、市民目線で見えた場合の疑問点など出していただきたいと考えたところです。

3. その他

事務局より、次回開催予定日等について説明を行った。

4. 閉会